

東京女子医科大学大学院医学研究科(博士課程)概要

1. 修業年限

博士課程4年(特例として3年)

2. 学位授与

本大学院医学研究科に4年以上、特例として、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学して所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格した者には博士(医学)の学位を授与する。

3. 奨学生制度

学業・人物ともに優れ、かつ健康である学生に対して日本学生支援機構の貸与制度がある。

4. 組織及び内容と学生定員

専攻	分野	指導教員	内容	入学定員	総定員	専攻	分野	指導教員	内容	入学定員	総定員	
形態学系	解剖学	藤枝 弘樹	解剖学 組織学・同実習・実験 発生学	5	20	外科系	外科学(第一)	神崎 正人	外科学・同実習・実験	10	40	
	解剖学・発生生物学	江崎 太一	外科学(第二)				岡本 高宏					
	病理学(第一)	柴田 亮行					心臓血管外科学	心臓血管外科学・同実習・実験				
	病理学(第二)	小田 秀明					重症心不全制御学	布田 伸一	重症心不全制御学・同実習・実験			
	微生物学免疫学	八木 淳二					微生物学免疫学・同実習・実験	消化器外科学	山本 雅一			消化器外科学・同実習・実験
機能学系	生理学(第一)	宮田 麻理子		生理学・同実習・実験	4		16	消化器がん化学療法	林 和彦			消化器がん化学療法・同実習・実験
	生理学(第二)	三谷 昌平						脳神経外科学	川俣 貴一			脳神経外科学・同実習・実験
	生化学	中村 史雄						整形外科学	岡崎 賢			整形外科学・同実習・実験
	薬理学	丸 義朗						薬理学・同実習・実験	形成外科学			櫻井 裕之
社会学系	衛生学公衆衛生学(一)	松岡 雅人		衛生学 公衆衛生学	4		16	眼科学	飯田 知弘			眼科学・同実習・実験
	衛生学公衆衛生学(二)							耳鼻咽喉科学				耳鼻咽喉科学・同実習・実験
	法医学	木林 和彦		法医学・同実習・実験				産婦人科学	松井 英雄			産婦人科学・同実習・実験
	国際環境・熱帯医学	杉下 智彦		国際環境・熱帯医学・同実習・実験				麻酔科学	尾崎 眞			麻酔科学・同実習・実験
	医学教育学	大久保 由美子		医学教育学・同実習・実験				泌尿器科学	田邊 一成			泌尿器科学・同実習・実験
内科系	内科学(第一)			内科学・同実習・実験	8		32	歯科口腔外科学	安藤 智博			歯科口腔外科学・同実習・実験
	内科学(第二)	市原 淳弘				救急医学		矢口 有乃	救急医学・同実習・実験			
	内科学(第三)	馬場園 哲也	先端工学外科学			村垣 善浩		先端工学外科学・同実習・実験				
	内科学(第四)	新田 孝作				遺伝子医学			遺伝子医学・同実習・実験			
	循環器内科学	萩原 誠久		循環器内科学・同実習・実験		代用臓器学		清水 達也	代用臓器学・同実習・実験			
	消化器内科学	徳重 克年		消化器内科学・同実習・実験		再生医工学		大和 雅之	再生医工学・同実習・実験			
	神経内科学	北川 一夫		神経内科学・同実習・実験		統合医科学			統合医科学・同実習・実験			
	血液内科学	田中 淳司		血液内科学・同実習・実験		疾患モデル研究		本田 浩章	疾患モデル研究・同実習・実験			
	精神医学	西村 勝治		精神医学・同実習・実験								
	小児科学	永田 智		小児科学・同実習・実験								
	皮膚科学		皮膚科学・同実習・実験									
	放射線腫瘍学	唐澤 久美子	放射線腫瘍学・同実習・実験									
	医学物理学	西尾 禎治	医学物理学・同実習・実験									
	画像診断学・核医学	坂井 修二	画像診断学・核医学・同実習・実験									

平成29年6月現在

(備考) 指導教員の空欄は選考中。
なお、分野横断的なコースとして、都市型がん地域医療を担うがん治療専門医養成コースが設置されています。

平成30年度 東京女子医科大学大学院医学研究科学生募集要項

1. 医学研究科募集人員

平成29年6月現在

専攻名	分野名	募集人員
形態学系	解剖学、解剖学・発生生物学、病理学(第一・第二)、微生物学免疫学	5
機能学系	生理学(第一・第二)、生化学、薬理学	4
社会医学系	衛生学公衆衛生学(一・二)、法医学、国際環境・熱帯医学、医学教育学	4
内科系	内科学(第一・第二・第三・第四)、循環器内科学、消化器内科学、神経内科学、血液内科学、精神医学、小児科学、皮膚科学、放射線腫瘍学、医学物理学 画像診断学・核医学	8
外科系	外科学(第一・第二)、心臓血管外科学、重症心不全制御学、消化器外科学 消化器がん化学療法、脳神経外科学、整形外科学、形成外科学、眼科学 耳鼻咽喉科学、産婦人科学、麻酔科学、泌尿器科学、歯科口腔外科学、救急医学	10
先端生命医科学系	先端工学外科学、遺伝子医学、代用臓器学、再生医工学、統合医科学、疾患モデル研究	8
入学志願者は専攻および主分野を選び入学志願票の所定欄に記入すること。		39

2. 入学資格

- 1) 大学医学部又は医科大学を卒業した者および平成30年3月卒業見込みの者。
- 2) 医学部以外の博士前期課程(修士課程)を修了した者。
- 3) 本大学院において、上記1) 2) と同等以上の学力があると認められた者。

3. 出願期間

前期：平成29年度8月9日(水)より8月16日(水)午後4時まで
後期：平成30年度2月14日(水)より2月21日(水)午後4時まで

4. 試験期日

前期：平成29年9月1日(金)午前8時45分までに大学院入学試験場に参集のこと。
後期：平成30年3月2日(金)午前8時45分までに大学院入学試験場に参集のこと。

5. 試験場所

東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学

6. 試験内容

- 1) 語学試験(午前9時00分から10時00分まで) 英語についての筆記試験を行う。
英和・和英辞書のみ持ち込み可。但し、医学用語事典、電子辞書等は不可。
- 2) 面接試験(午前10時20分から) 口答試験を行う。

7. 出願手続

入学志願者は次の書類を一括して提出すること。

- 1) 入学志願票 本学所定のもの。裏面の履歴書欄も記入すること。
- 2) 各種証明書 願書受付日前3ヶ月以内に発行されたもの。
 - a. 修士課程の成績証明書
 - b. 修士課程の修了(見込)証明書
 - c. 大学の卒業証明書および成績証明書ただし、大学医学部(卒業見込を含む)により出願する者は、上記aおよびbは提出不要
- 3) 写真 2 枚 3ヶ月以内に撮影したもの(カラー写真①タテ5cm×ヨコ4cm、②タテ4cm×ヨコ3cm各1枚)
①は志願票に貼付のこと。②は裏面に氏名を記入すること。
- 4) 入学検定料 30,000円(本学所定の振込用紙(本要項とじこみ)を使用し、1)に貼付)

- (注意) ○出願前に、必ず当該分野の教授・講座主任又は大学院教授と、今後の研究・教育内容についての相談の上、志願票に捺印をもらうこと。
- 出願手続後の志望変更は原則として認めない。又、提出した書類および検定料は返却しない。
- 郵送にて出願の際は必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱記すること。
受験票郵送を必要とする者は、切手392円分(簡易書留代)を同封すること。

8. 合格発表

前期：平成29年9月19日(火) 午前10時 本学に掲示する。
後期：平成30年3月19日(月) 午前10時 本学に掲示する。

9. 入学手続期間

前期：平成29年9月19日(火)より9月26日(火) 午後4時まで
後期：平成30年3月19日(月)より3月23日(金) 午後4時まで

10. 学費

種別	金額(単位:円)
入学金	310,000
授業料(年額)	350,000
実習費(年額)	500,000
計	1,160,000

- ◎本学卒業者の入学金は10万円とする。
- ◎授業料等の納入金は、休学中等の場合も原則として減免しない。
- ◎学生納付金の金額は、本要項作成後に改定されることがあるので、入学案内に記載する金額を納入すること。在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

11. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施・合格発表から入学手続、および入学後の修学指導・支援等、大学が必要と判断した事項を行うために利用します。これらの業務の一部を、東京女子医科大学が指定した業者に委託することがあります。

12. その他

- (注意) ○健康診断書は出願時には不要。
ただし、本入学試験合格者に対して入学手続の際に健康診断書(本学所定の用紙)の提出を要する。

共同先端生命医科学専攻の入試要項(出願書類)については、
ホームページ(<http://www.jointbiomed.sci.waseda.ac.jp/>)よりダウンロードしてください。

大学院の到達目標

本学の大学院は「基礎医学・社会医学・臨床医学あるいはそれらに関連付けた研究に専念し、医学領域の研究・診療・教育・行政における指導者を養成する」と位置付けられている。

在学中に修得すべき到達目標を以下に掲げる。

I 一般的事項

1) 一般的知識

- ヒト(生物)の構造、機能、病態、および健康と環境ならびに社会との関わりなどについての既知の事項を理解できる。
- ヒト(生物)の構造、機能、病態、および健康と環境ならびに社会との関わりなどについての未知の事項を把握できる。
- 既知および未知の事項について、臓器、細胞、分子レベルで説明できる。
- 自分の研究の重要性・位置づけを認識できる。
- 用いる研究手法の原理・精度・感度などについて理解し説明できる。
- 実験上の規制(RI、遺伝子組み換えなど)に熟知している。
- 論文のプライオリティー、著作権に対する認識がもてる。
- 微生物の一般的取り扱いと処理について熟知している。
- 劇物、毒物、有機溶媒の取り扱いと処理について熟知している。
- 医療廃棄物の取り扱いと処理について熟知している。
- 放射線の種類と人体におよぼす影響について説明できる。

2) 一般的技術

ア) 研究手法

- 目的を把握できる。
- 研究計画を立案できる。
- 適切な手法を用いて、研究を遂行できる。
- 研究上の規則を遵守できる。
- 結果を的確に記録できる。
- 結果を適切に分析、解析できる。
- 結果を論理的にまとめ、結論を導ける。
- 自分の結果を客観的に平易に説明できる。
- 共同研究者と討論できる。
- 研究テーマを設定できる。

イ) 統計・情報

- 種々の統計法を用いて統計処理ができる。
- 必要な情報の収集・交換ができる。
- インターネットを活用できる。

ウ) 文献の検索

- 図書館を活用できる。
- 文献検索(二次資料を含む)ができる。

- エ)論文の読み方
- 論文(邦文・英文)の論点を理解できる。
 - 論文の批判的吟味ができる。
- オ)論文の書き方
- 目的・方法・結果・考察の順に簡潔に記載できる。
 - 要約としてまとめることができる。
 - 図、表などを適切に作成できる。
 - 適切な文献を引用することができる。
 - 投稿論文に対する査読者の指摘に沿って訂正し、適切な返答をすることができる。
 - 英文で書くことができる。
 - 印刷原稿の校正ができる(和文・英文)。
 - 二重投稿や他の論文からの転用、引用に関する研究者モラルを遵守できる。
- カ)学会発表の方法
- スライド、ポスターを作成できる。
 - 論旨を明確に述べることができる。
 - 質問に対する的確、簡潔な返答ができる。
 - 他人の発表を理解し、評価できる。
- キ)英語力
- 英語で会話ができる。
 - 英語で手紙を書くことができる。

3)医学教育に関する知識と技術

- 教育原理に関する基本的知識を習得する。
- 教育技法を習得する。
- 教育評価に関する知識と技能を習得する。

4)一般的態度(意欲、関心を含む)

- 自分の研究に意欲がもてる。
- 最新の研究動向に関心がもてる。
- 自己学習、自己開発を行うことができる。
- 他の研究者と協調し、共同して実験することができる。
- 他の研究者の話聞き、討論することができる。
- 現時点での自分の能力を知り、適切な専門家の意見をもとめることができる。
- 国内外の研究倫理関連法律・指針および利益相反などの内容を熟知している。
- データのねつ造や盗用、不利なデータの隠蔽、研究費の不正使用などを禁ずる研究上の倫理を遵守できる。

II 各専攻別事項

入学後所属専攻の到達目標を配布する。